

---

**2016年3月期  
第1四半期決算 及び 通期業績見通し  
説明資料**

---

**帝人株式会社  
2015年7月31日**

# 第1四半期決算概況

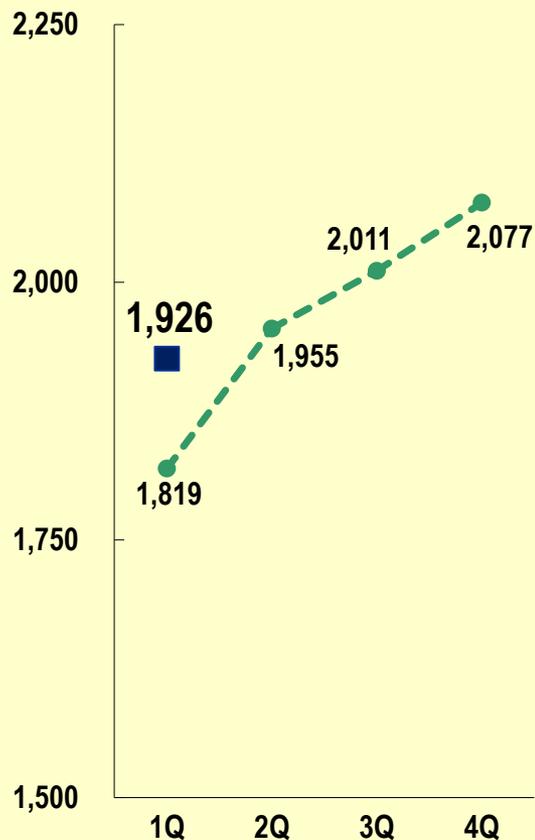
(1) 2016年3月期 第1四半期決算概況

(億円)

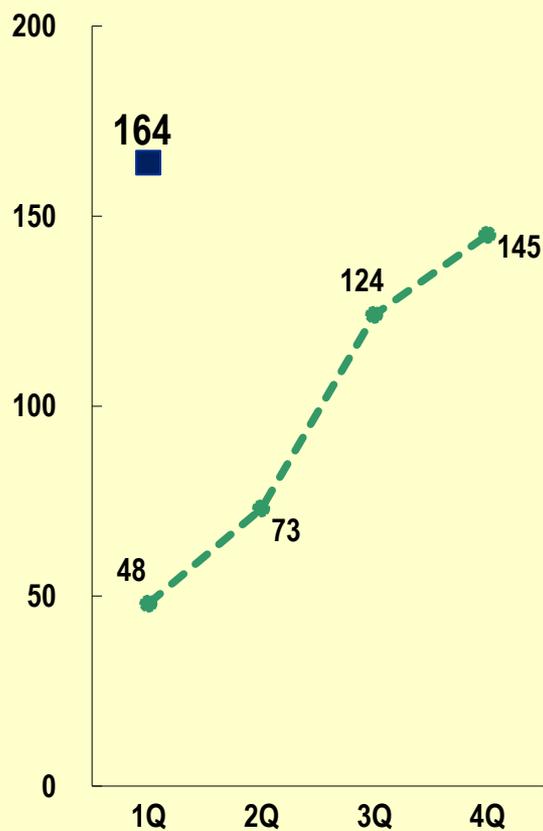
四半期推移

● 14年度 ■ 15年度

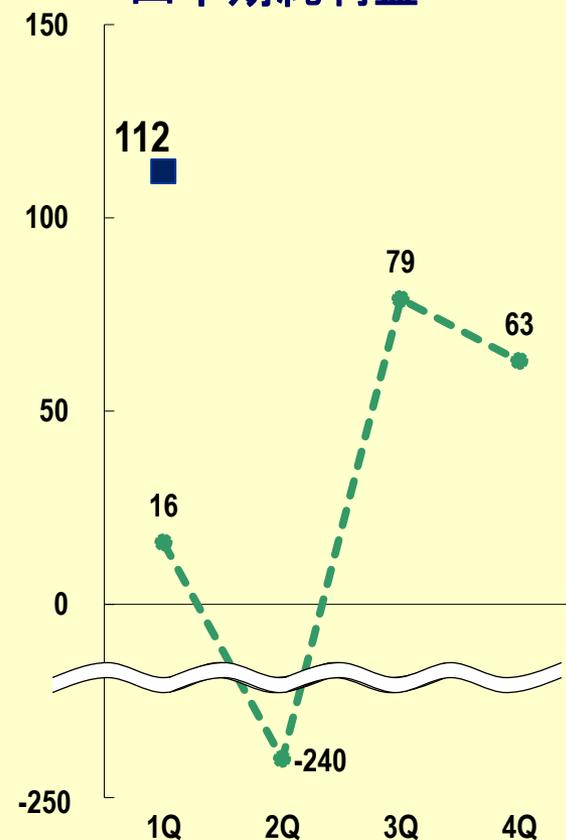
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益



## ◆ 経営成績

(億円)	14年度 1Q	15年度 1Q	差異 金額
売上高	1,819	1,926	+107
営業利益	48	164	+116
<営業利益率>	2.6%	8.5%	+5.9%
営業外損益	-2	16	+17
経常利益	47	180	+133
特別損益	-8	-13	-5
税金等調整前 四半期純利益	39	167	+128
法人税等	24	55	+31
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-1	0	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	112	+95
EPS(円)	1.68	11.39	+9.71

EBITDA *1	159	259	+100
設備投資 *2	62	67	+5
減価償却費	111	95	-16
研究開発費	77	80	+3
FCF	-215	54	+269

\*1: EBITDA (営業利益+減価償却費)にて算出 \*2: 設備投資には無形固定資産を含む

## ➤ 売上高 増収

- ・ 素材事業は概ね横ばいも、ヘルスケア事業、製品事業で増収

## ➤ 営業利益・経常利益・四半期純利益 大幅増益

- ・ 原燃料価格の低下、構造改革効果により、素材事業が大幅増益
- ・ 主力製品・サービスの好調により、ヘルスケア事業も堅調に推移

## ◇ PL換算レート

	14年度 1Q	15年度 1Q
円/米ドル	102	121
円/ユーロ	140	134
米ドル/ユーロ	1.37	1.11

## ◆ 営業外損益

(億円)	14年度 1Q	15年度 1Q	差異 金額
受取利息	1	2	+0
受取配当金	7	9	+2
持分法による投資利益	4	9	+5
為替差益	—	2	+2
雑収入	2	6	+4
営業外収益 計	15	28	+14
支払利息	7	6	-1
為替差損	0	—	-0
雑損失	9	6	-3
営業外費用 計	16	13	-4
営業外損益 計	-2	16	+17

## ◆ 特別損益

(億円)	14年度 1Q	15年度 1Q	差異 金額
固定資産売却益	0	1	+0
投資有価証券売却益	0	0	-0
事業構造改善引当金 戻入額	—	1	+1
その他	0	0	+0
特別利益 計	1	2	+1
固定資産除売却損	1	3	+2
減損損失	2	5	+3
事業構造改善費用	6	4	-2
その他	0	3	+3
特別損失 計	9	15	+6
特別損益 計	-8	-13	-5

◆ 財政状態

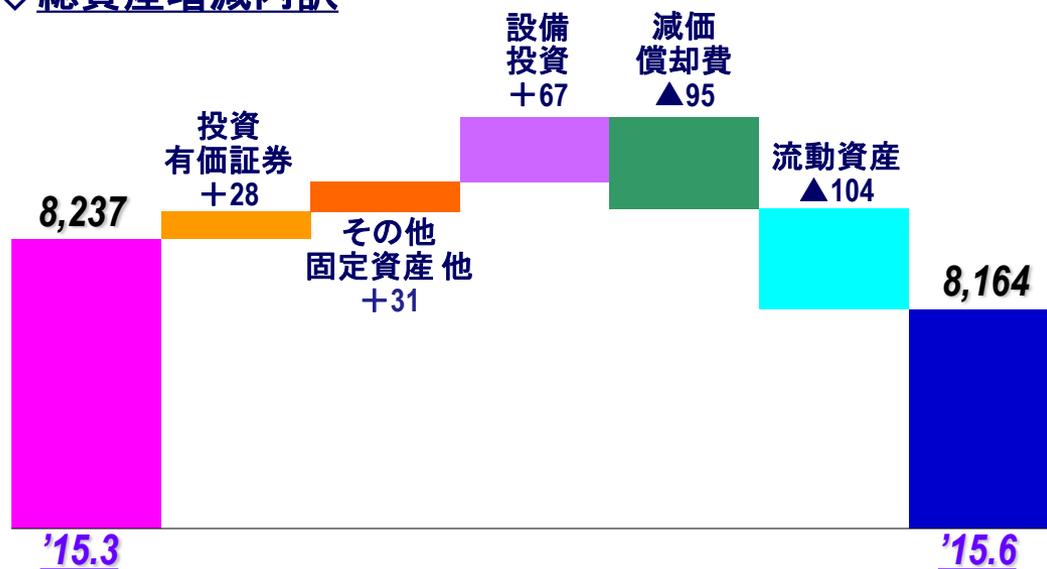
(億円)	15年 3月末	15年 6月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	8,237	8,164	-73	+60
自己資本	2,871	3,028	+157	+27
有利子負債	3,082	2,943	-139	+17
D/Eレシオ	1.07	0.97	-0.10	
自己資本比率	34.9%	37.1%	+2.2%	

◆ キャッシュ・フローの状況

(億円)	14年度 1Q	15年度 1Q	差異
営業活動	48	125	+76
投資活動	-264	-71	+193
FCF	-215	54	+269
財務活動他	218	-193	-411
現金及び 現金同等物 増減	3	-139	-142

\* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外

◇ 総資産増減内訳

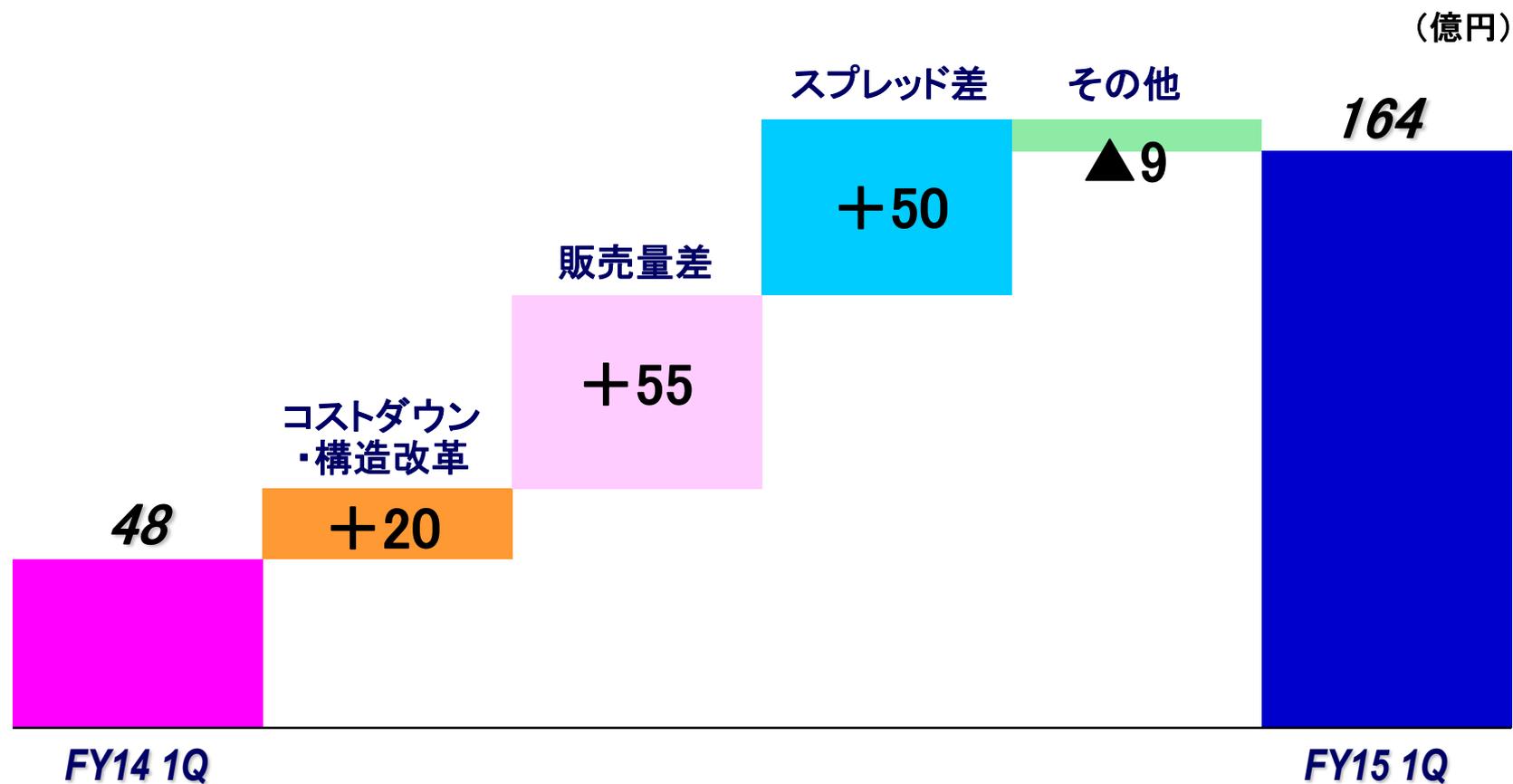


◇ BS換算レート

	15年 3月末	15年 6月末
円／米ドル	120	122
円／ユーロ	130	137
米ドル／ユーロ	1.08	1.12

## ◆ 営業利益増減内訳

ヘルスケア事業を中心とした増販効果と、素材事業全般における原燃料価格ダウンが大幅増益に寄与



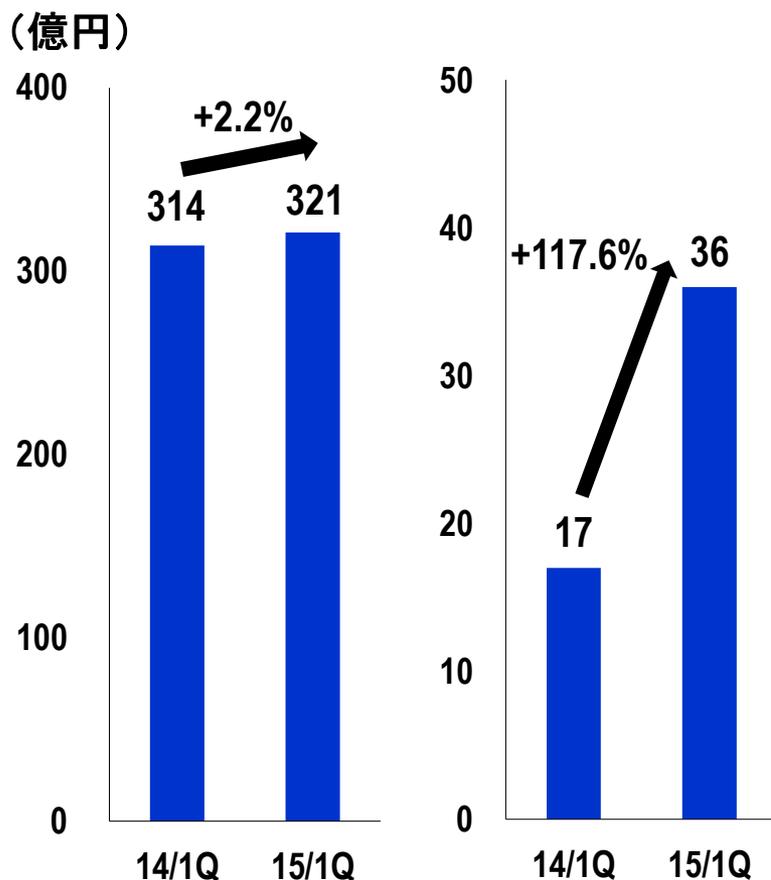
## (2) セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前年同期)

(億円)	売上高				営業利益			
	14年度 1Q	15年度 1Q	差異	増減率	14年度 1Q	15年度 1Q	差異	増減率
高機能繊維・複合材料	314	321	+7	+2.2%	17	36	+20	+117.6%
電子材料・化成品	462	448	-14	-3.1%	7	62	+55	+752.8%
ヘルスケア	332	380	+47	+14.3%	57	89	+32	+56.9%
製品	575	614	+39	+6.8%	8	10	+3	+38.5%
計	1,684	1,763	+79	+4.7%	88	197	+109	+124.4%
その他	135	163	+28	+20.7%	-7	5	+12	—
消去又は全社	—	—	—	—	-33	-39	-6	—
合計	1,819	1,926	+107	+5.9%	48	164	+116	+241.0%

## ①高機能繊維・複合材料事業

売上高

営業利益



(億円)	14/1Q	15/1Q	差異	増減率
売上高	314	321	+7	+2.2%
営業利益	17	36	+20	+117.6%

## ◆事業概況

## ◇高機能繊維:

## パラアラミド繊維:

- ・ 欧州向け自動車用途、インフラ関連用途の販売が順調
- ・ 防弾用途も安定した推移

## メタアラミド繊維:

- ・ 防護衣料及び産業資材用途が堅調に推移

## ポリエステル繊維:

- ・ 自動車用途苦戦も、衛生材料やRO膜支持体等の増販、コストダウンにより収益確保

## ◇炭素繊維・複合材料:

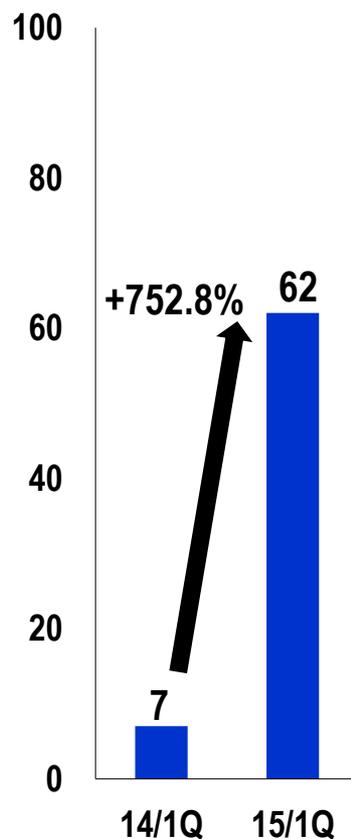
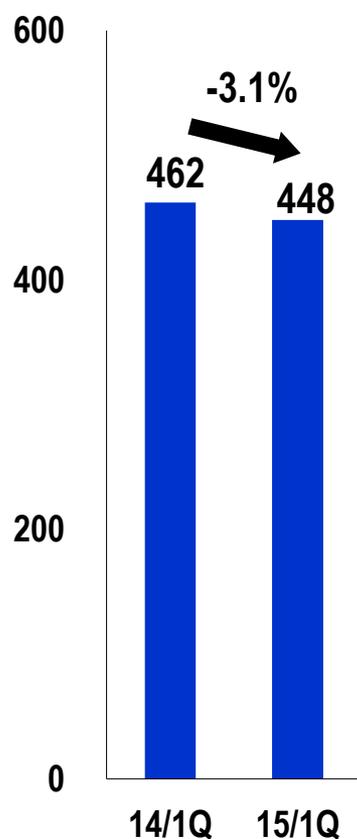
- ・ 航空機、アジア向けスポーツ・レジャー用途が順調に推移
- ・ 熱可塑性CFRPプロジェクトも着実に推進中

## ②電子材料・化成品事業

売上高

営業利益

(億円)



(億円)	14/1Q	15/1Q	差異	増減率
売上高	462	448	-14	-3.1%
営業利益	7	62	+55	+752.8%

## ◆事業概況

## ◇樹脂:

## PC樹脂:

- 主原料価格低下、販売構成の改善に加え、構造改革効果もあり、収益は大幅改善

## 樹脂加工品・機能樹脂:

- PCベースITOフィルム(静電容量)の販売拡大
- スマホカメラレンズ向け特殊PC堅調

## ◇フィルム:

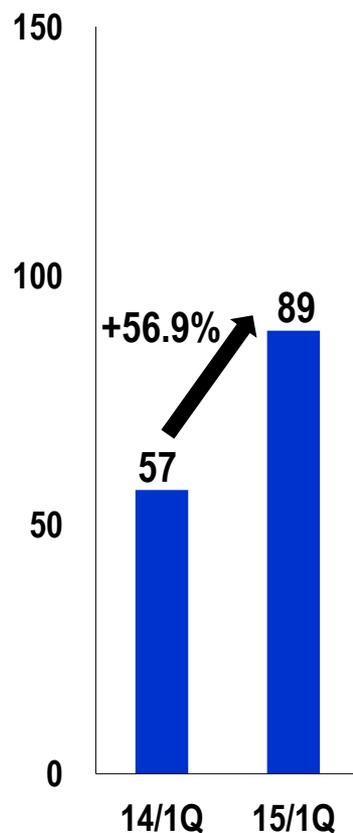
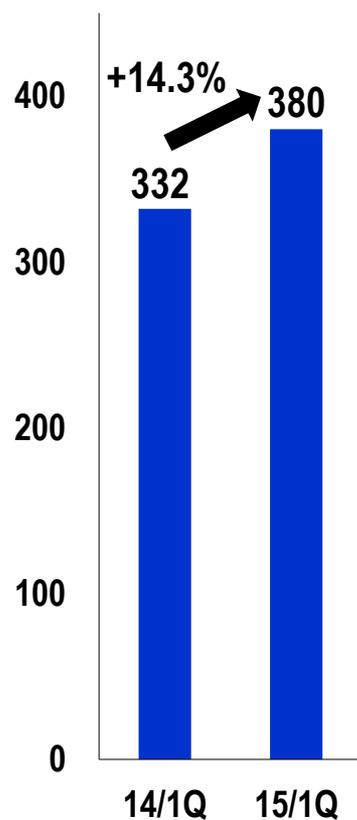
- 液晶TV向け反射板は価格競争激化により苦戦、特殊包装、磁気用途も需要低迷
- 積層セラミックコンデンサ(MLCC)や偏光板向けの工程用離型フィルム堅調
- 国内生産拠点の集約に向け、高付加価値用途への特化と生産移管を推進中

## ③ヘルスケア事業

売上高

営業利益

(億円)



(億円)	14/1Q	15/1Q	差異	増減率
売上高	332	380	+47	+14.3%
営業利益	57	89	+32	+56.9%

## ◆事業概況

## ◇医薬品:

- ・ 高尿酸血症・痛風治療剤「フェブキソスタット」、先端巨大症治療剤「ソマチュリン」等の新薬群は堅調に拡大
- ・ 既存薬の新剤型追加によりラインナップ拡充
- ・ 後発品拡大により、既存薬は苦戦

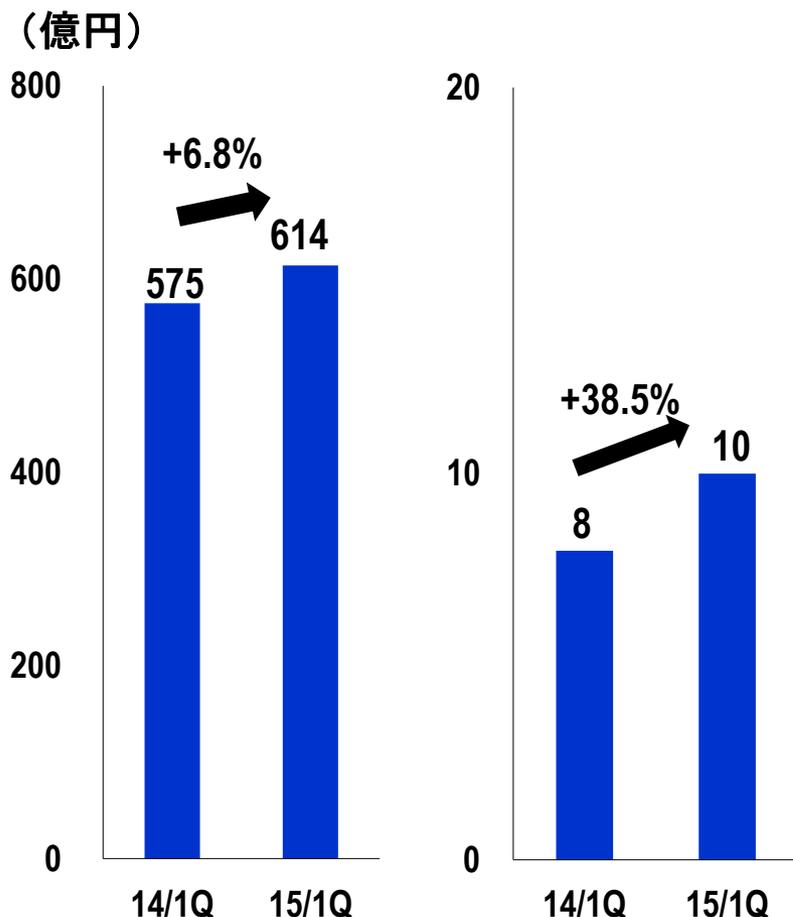
## ◇在宅医療:

- ・ HOT: 高水準のレンタル台数を維持、携帯型の拡充に注力
- ・ CPAP: レンタル台数は着実に伸長
- ・ 米国では厳しい事業環境が継続  
営業所の統廃合・人員削減等の改善策を推進

## ④製品事業

売上高

営業利益



(億円)	14/1Q	15/1Q	差異	増減率
売上高	575	614	+39	+6.8%
営業利益	8	10	+3	+38.5%

## ◆事業概況

## 衣料繊維:

- ・ 素材では、欧米スポーツアパレル向け販売が好調に推移、秋冬向け重点素材の拡販に注力
- ・ 繊維製品は、円安に伴う輸入コスト高や、消費増税後の小売市況低迷は継続
- ・ アセアン地域での供給力アップ、素材開発力を活かしたODM\*事業の強化を推進

## 産業資材:

- ・ 繊維資材、生活資材は全般的に好調
- ・ 自動車関連部材は期初は好調も後半減速
- ・ ヘルスケア事業との、メディカル・介護分野での総合的な取り組みを開始

\* ODM : 相手先ブランドによる企画・生産

## (3) 主要アクション(2015年4月以降)

### — 重点戦略事業 —

#### ■ 炭素繊維 : プリプレグ拡大に向けた開発加速

- ・ 高強度高弾性炭素繊維 航空機・自動車用途の高い要求特性に応える



プリプレグ

#### ■ 医薬品 : パイプラインの強化・拡充

- ・ ムコソルバン 小型徐放錠上市 小さく服用しやすく、1日1回の服用で効果が持続
- ・ フェブキソスタット 欧州での適応拡大 腫瘍崩壊症候群にも適応、販売保護期間も延長
- ・ 「TMX-049」臨床開始 次世代の高尿酸血症治療薬として大きな期待

ムコソルバン  
L錠

### — 新規事業 —

#### ■ 二次元通信シート「セルフフォーム」展開拡大

- ・ ペーパービーコン販売開始 スマートフォンやタブレットを置くことでネットワークへの接続を認証する世界初シート型ビーコン
- ・ ヘルスケア領域への展開 医療機器等をリアルタイムで管理するシステムを提案

#### ■ メンブレン(微多孔膜)事業 本格展開

- ・ 高機能メンブレン「MIRAIM」 異物除去フィルター・細胞培地シート等へ展開



# 2016年3月期 通期業績見通し

## ◆ 通期業績見通しの概況

先行き不透明な経済環境ながら、素材事業における主原料価格の低下等による上期の上振れ見通しを、年間見通しにも反映

(億円)	14年度実績	15年度見通し	差異		15年度 前回見通し <sup>*2</sup>	前回見通し との差異 (金額)
			金額	%		
売上高	7,862	8,100	+238	+3.0%	8,250	-150
営業利益	391	530	+139	+35.6%	475	+55
<営業利益率>	5.0%	6.5%	—	+1.5%	5.8%	—
経常利益	424	530	+106	+25.1%	475	+55
親会社株主に帰属する 当期純利益	-81	300	+381	—	250	+50
設備投資 <sup>*1</sup>	281	440	+159		440	—
減価償却費	430	400	-30		400	—
研究開発費	324	340	+16		340	—
FCF	264	150	-114		100	+50

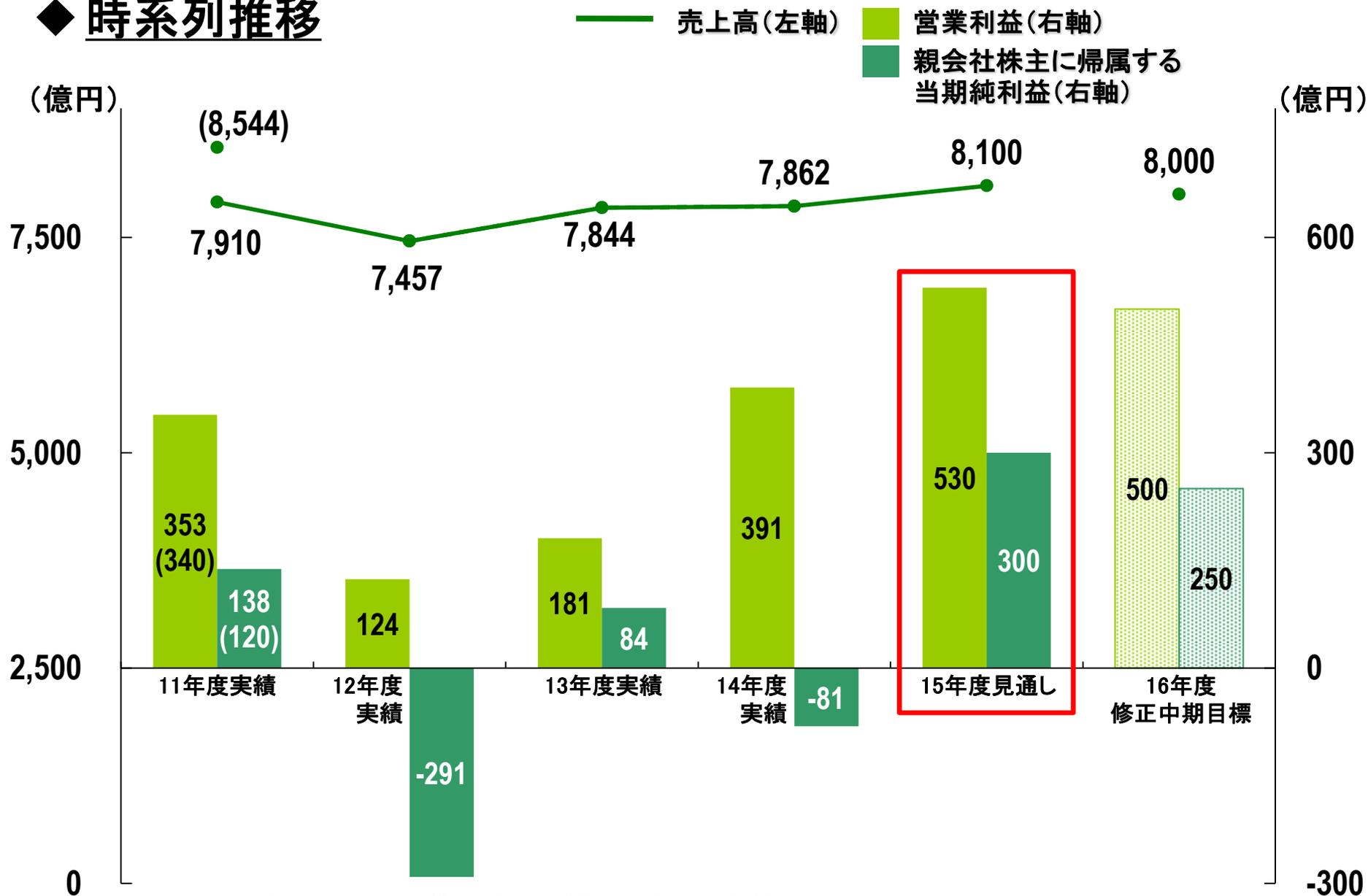
\*1 設備投資には無形固定資産を含む

\*2 前回見通しは2015年5月8日公表

◇ 配当見通し(円/株) : 前回見通しと変更なし (中間配当 3.0、期末配当 3.0 【年間配当 6.0】)

◇ 前提条件 : 通期為替レート 120円/米ドル・135円/ユーロ、原油価格(Dubai) 64米ドル/バレル

◆ 時系列推移



\* ( )内 一部子会社の決算期統一影響額を含んだ数値

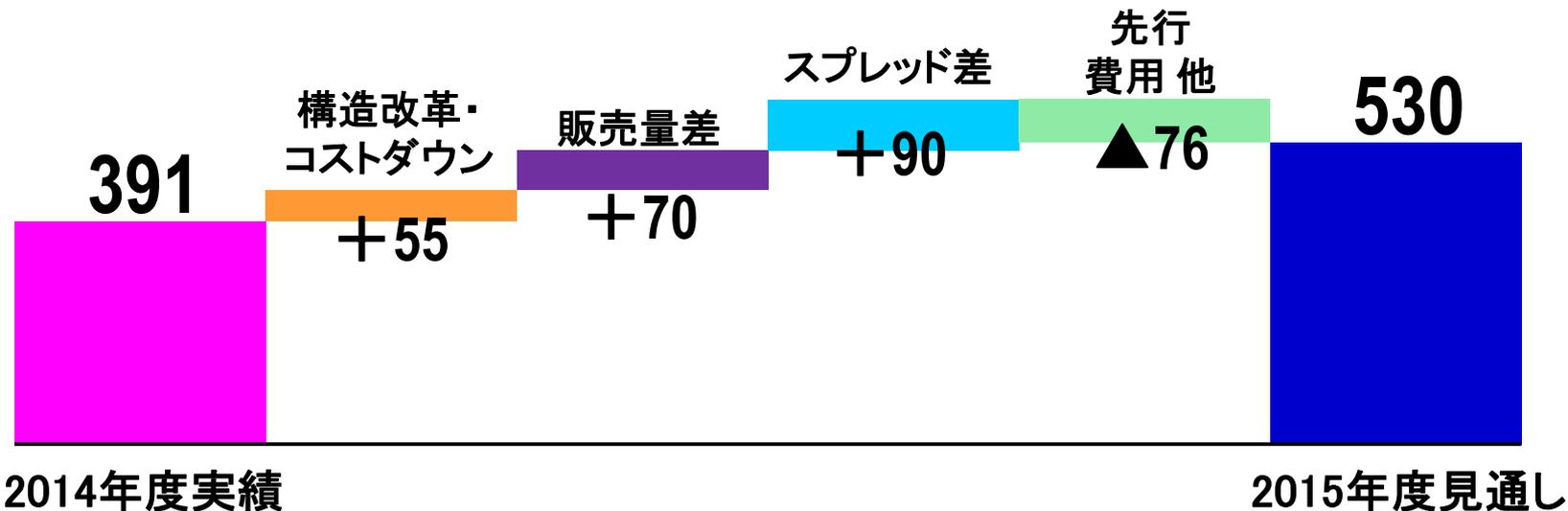
## ◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前年実績対比)

(億円)		14年度実績			15年度見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	高機能繊維・複合材料	644	711	1,355	650	750	1,400	+45
	電子材料・化成品	922	926	1,848	850	850	1,700	-148
	ヘルスケア	678	739	1,417	750	750	1,500	+83
	製品	1,236	1,358	2,594	1,300	1,450	2,750	+156
	計	3,480	3,734	7,214	3,550	3,800	7,350	+136
	その他	294	354	648	350	400	750	+102
	合計	3,774	4,088	7,862	3,900	4,200	8,100	+238
営業利益	高機能繊維・複合材料	47	97	144	85	100	185	+41
	電子材料・化成品	-13	47	34	95	35	130	+96
	ヘルスケア	121	127	248	155	115	270	+22
	製品	20	23	42	15	35	50	+8
	計	174	294	468	350	285	635	+167
	その他	5	35	40	15	40	55	+15
	消去又は全社	-58	-60	-117	-85	-75	-160	-43
合計	121	270	391	280	250	530	+139	

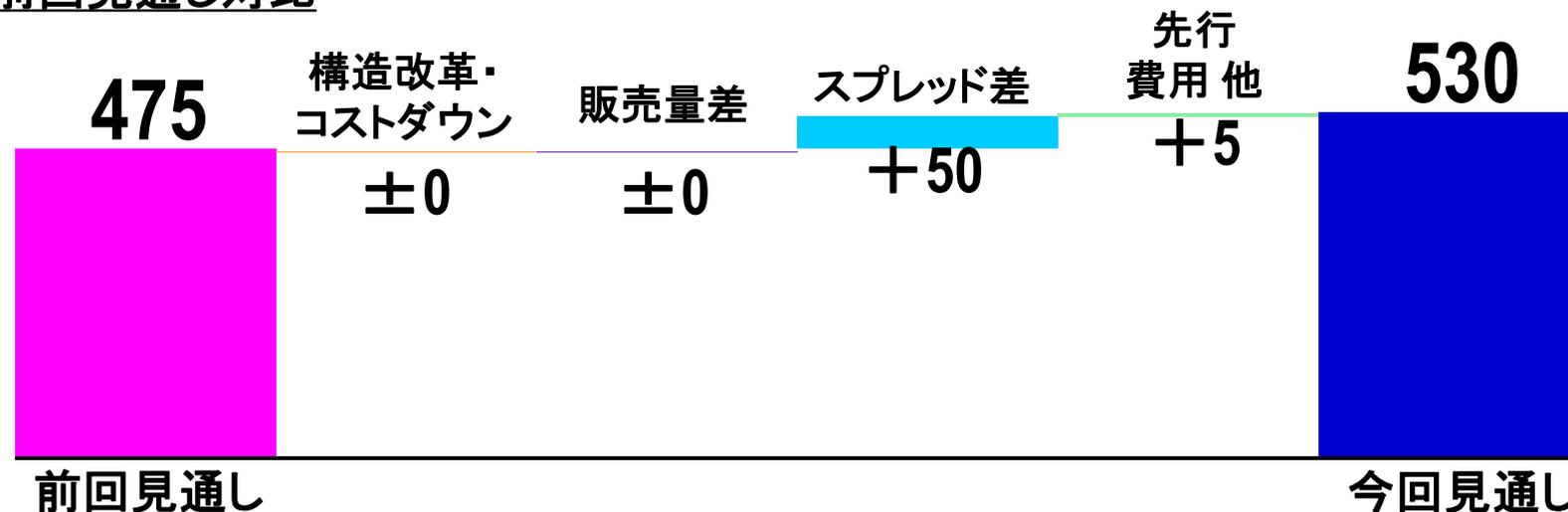
◆ 営業利益増減内訳

➤ 2014年度実績対比

(億円)



➤ 前回見通し対比



## ◆ 主要経営指標

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 見通し
ROA：営業利益／総資産	4.5%	1.6%	2.4%	4.9%	6.3%
ROE：当期利益／自己資本*1	4.2%	-10.3%	3.0%	-2.8%	10.0%
売上高営業利益率	4.0%	1.7%	2.3%	5.0%	6.5%
D/Eレシオ*2	0.89	1.00	1.00	1.07	1.0
自己資本比率	38.3%	35.6%	36.7%	34.9%	36.0%
1株当たり当期純利益(円)	12.2	-29.6	8.5	-8.2	30.5
1株当たり配当金(円)	6.0	4.0	4.0	4.0	6.0
総資産(億円)	7,621	7,624	7,684	8,237	8,500
有利子負債(億円)	2,610	2,708	2,815	3,082	3,100
EBITDA(億円)*3	863	592	637	821	930

\*1 「当期純利益÷自己資本」にて算出

\*2 「有利子負債÷自己資本」にて算出

\*3 「営業利益+減価償却費」にて算出

# 見直しに関する注意事項と事業等のリスク

## 見直しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

### ① 競合・市況変動にかかるとの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

### ② 製品の品質にかかるとの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ③ 研究開発にかかるとの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、特に医療用医薬品の開発には、多額の費用と長い期間がかかるうえ、創薬研究において、有用な化合物を発見できる可能性は決して高くありません。また、種々の要因により承認申請を断念しなければならない可能性があります。また、承認申請した後でも承認が取り消されることがあります。

### ④ 海外活動にかかるとの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ⑤ 事故・災害にかかるとの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

本資料は、2015年7月31日午前11時30分に公表した弊社決算発表に基づくものです。  
本資料に記載された製品名等は登録商標です。

## ◆ 連結貸借対照表

(億円)	13年 9月末	13年 12月末	14年 3月末	14年 6月末	14年 9月末	14年 12月末	15年 3月末	15年 6月末
資産 合計	7,668	7,910	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164
流動資産	3,662	3,856	3,649	3,676	3,708	4,131	4,060	3,956
固定資産	4,006	4,054	4,035	4,162	4,090	4,196	4,177	4,208
負債・純資産 合計	7,668	7,910	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164
負債	4,713	4,893	4,683	4,838	4,993	5,391	5,201	4,963
(内 有利子負債)	2,923	2,969	2,815	3,034	3,020	3,173	3,082	2,943
純資産	2,955	3,017	3,001	3,000	2,805	2,936	3,036	3,202

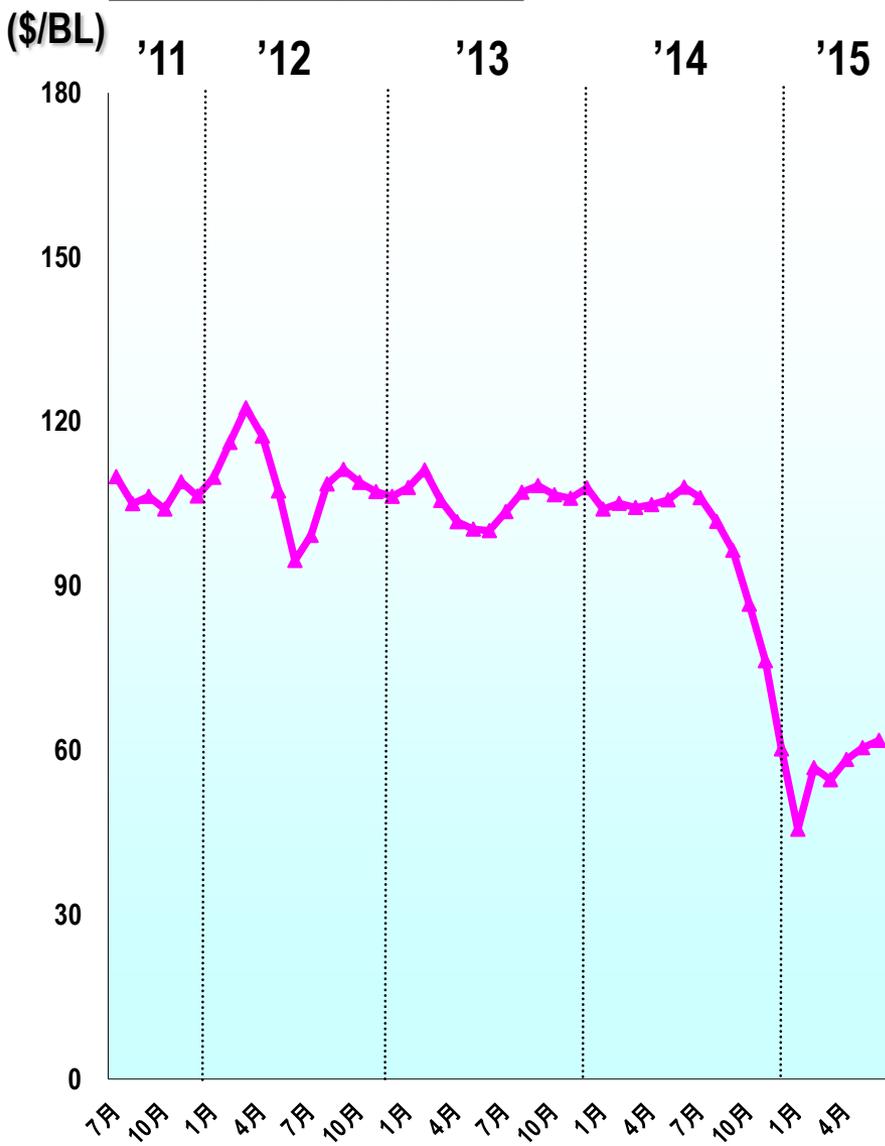
\* 詳細については決算短信をご覧ください

## ◆ 連結損益計算書

(億円)	14年度				15年度	14年1Q 15年1Q 比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
売上高	1,819	1,955	2,011	2,077	1,926	+107
売上原価	1,339	1,452	1,451	1,453	1,308	-31
売上総利益	480	503	560	624	617	+138
販管費	431	430	435	479	453	+22
営業利益	48	73	124	145	164	+116
営業外損益	-2	21	25	-11	16	+17
（内 金融収支）	1	-5	-2	-6	5	+3
（内 持分法投資損益）	4	12	9	-1	9	+5
経常利益	47	94	149	134	180	+133
特別損益	-8	-412	-41	-32	-13	-5
税前利益	39	-319	108	102	167	+128
法人税等	24	-57	29	35	55	+31
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-1	-22	-0	4	0	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	-240	79	63	112	+95

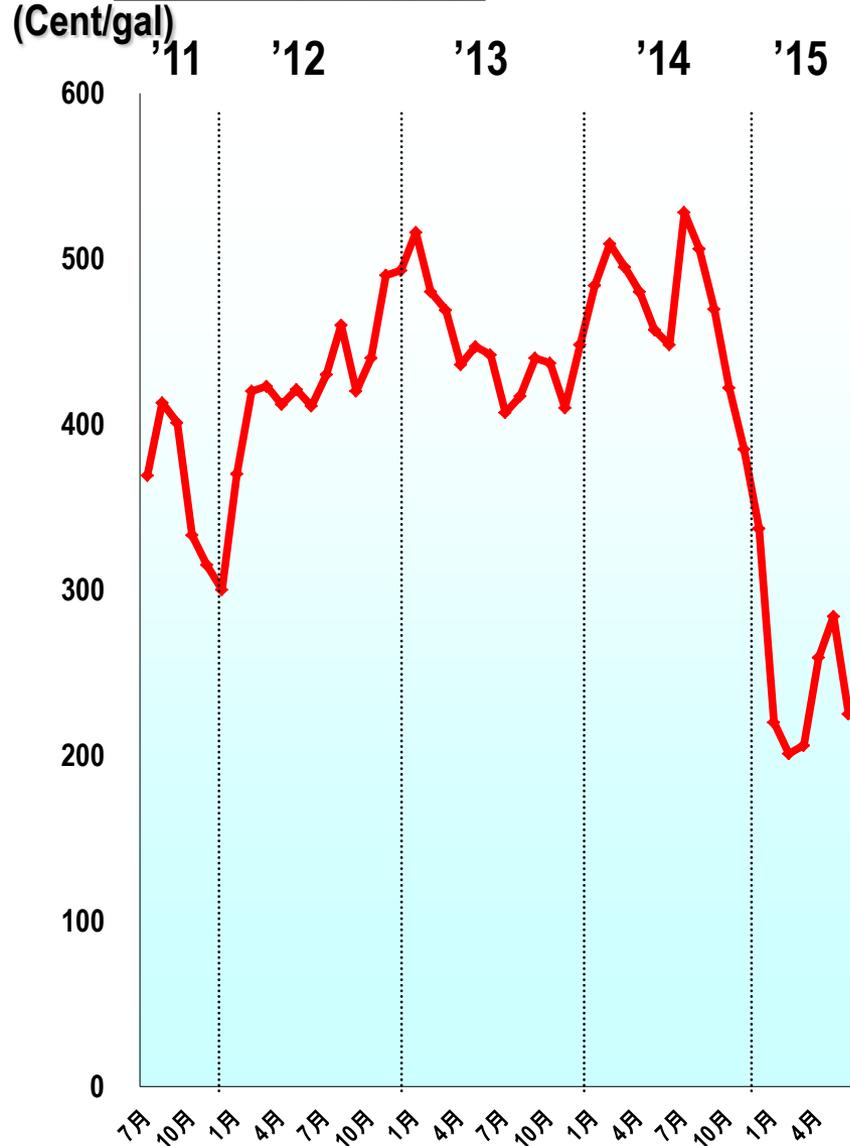
\* 詳細については決算短信をご覧ください

### ◆ ドバイ原油価格推移



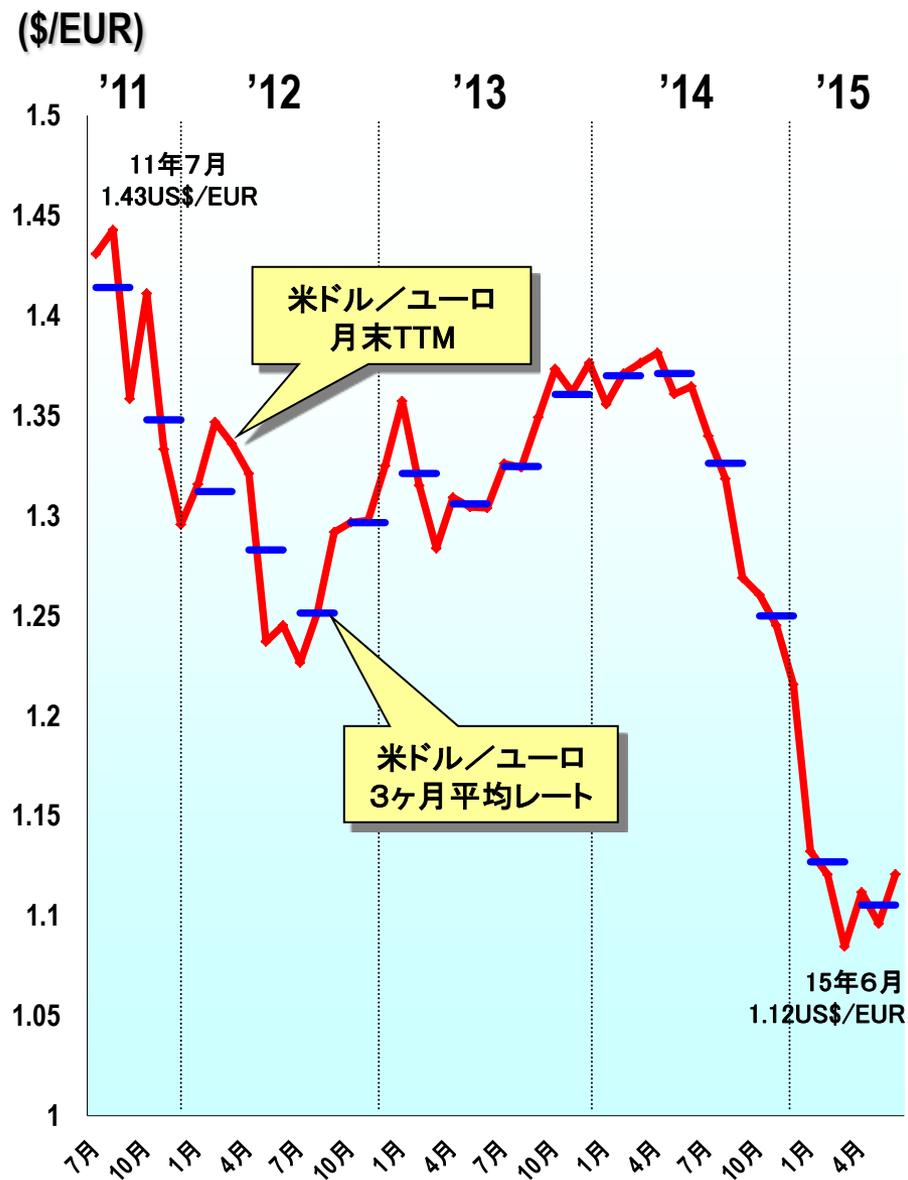
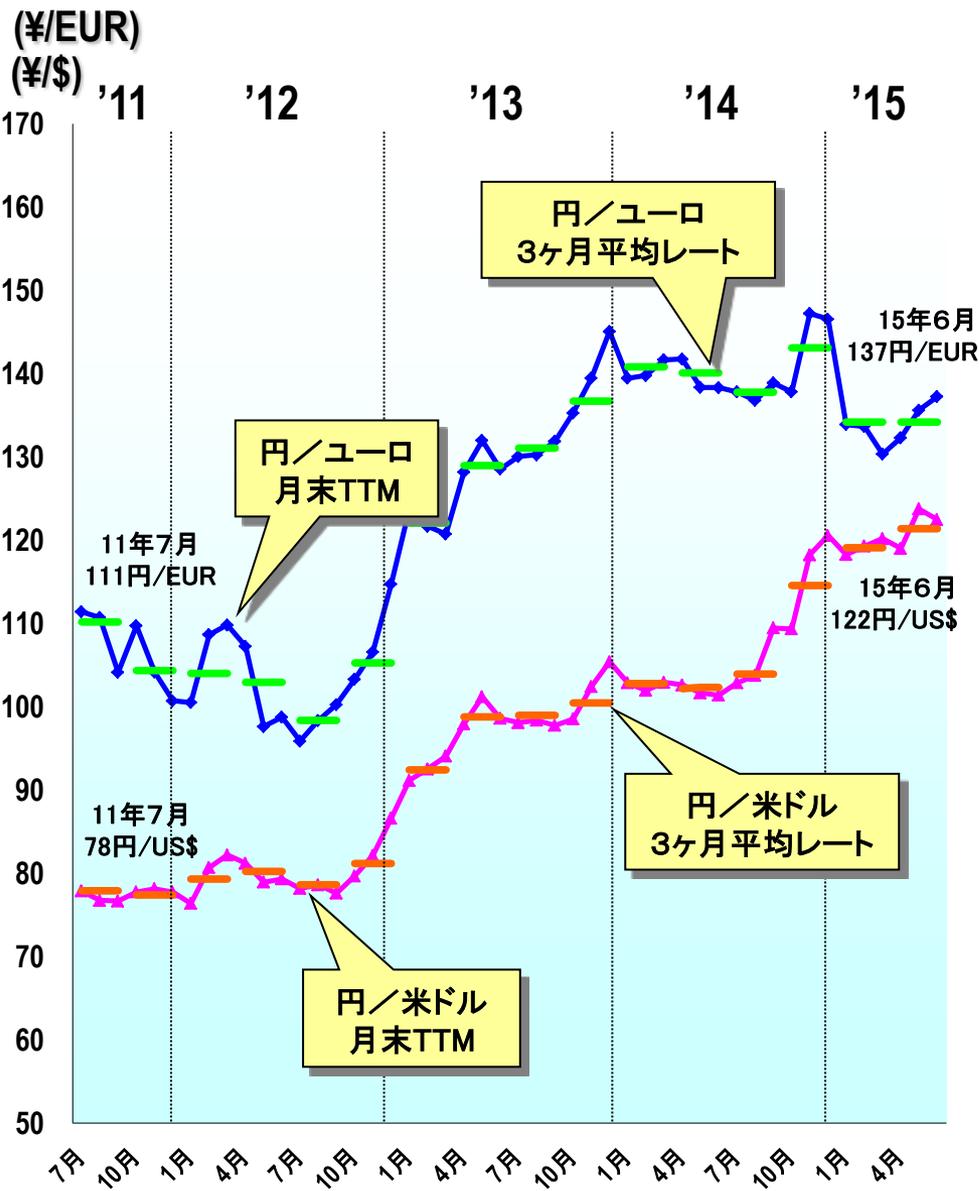
【出所:Platt's社のDATAを基に弊社推定】

### ◆ ベンゼン価格推移



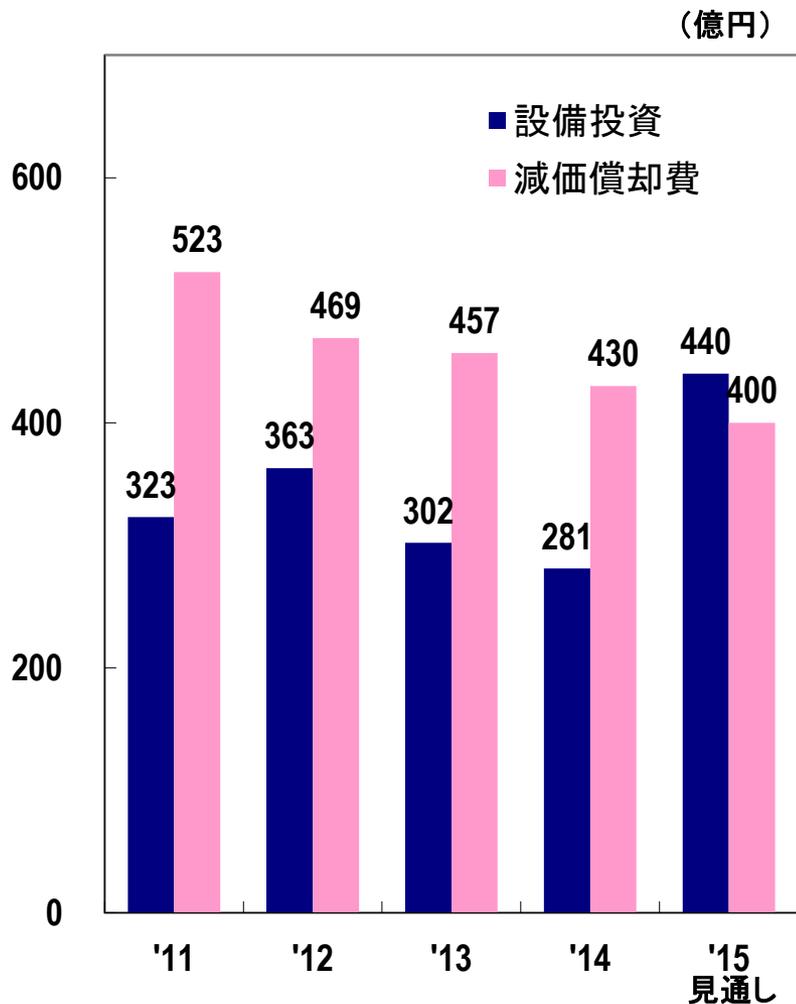
【出所:BZ DewittのDATAを基に弊社推定】

### ◆ 円/米ドル、円/ユーロ為替レート推移

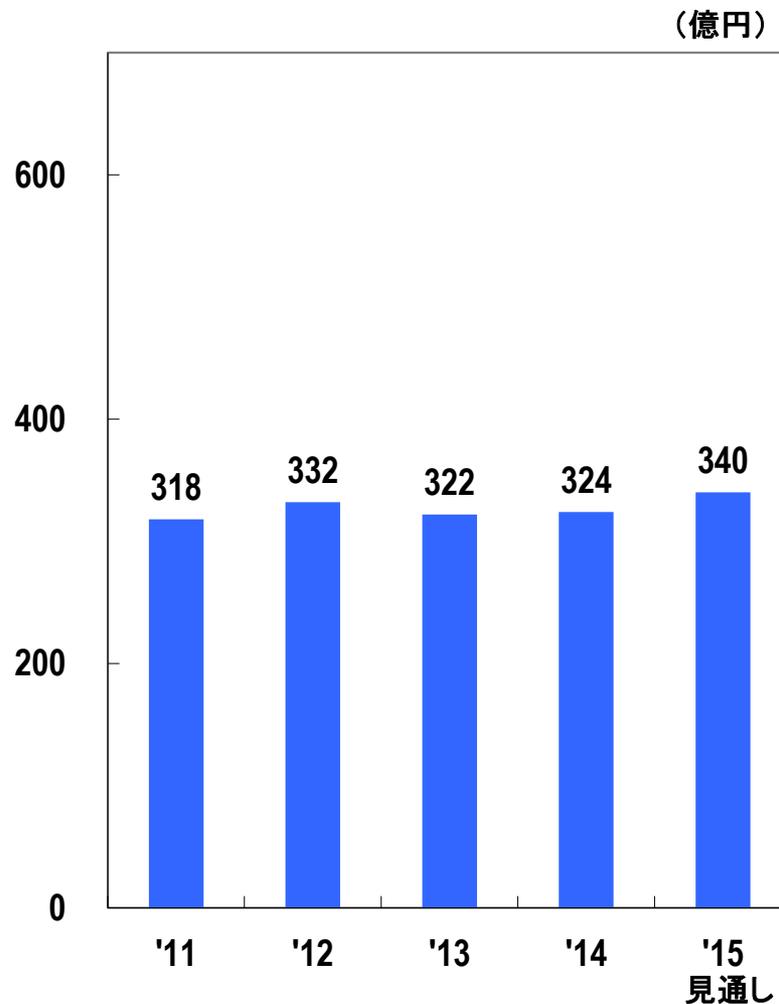


# ◆設備投資・減価償却費・研究開発費推移

設備投資・減価償却費



研究開発費



## ◆ 主要医薬品売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	14年度					15年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
ボナロン <sup>®</sup> *	骨粗鬆症治療剤	31	33	36	30	129	33
ワンアルファ <sup>®</sup>	骨粗鬆症治療剤	14	14	15	12	54	13
骨粗鬆症治療剤 計		45	46	50	41	182	46
フェブリク <sup>®</sup>	高尿酸血症・痛風治療剤	28	39	47	41	155	48
ベニロン <sup>®</sup>	重症感染症治療剤	25	24	28	21	98	25
ムコソルバン <sup>®</sup>	去痰剤	16	14	19	15	65	18
ラキシベロン <sup>®</sup>	緩下剤	8	7	8	6	29	7
トライコア <sup>®</sup>	高脂血症治療剤	4	4	5	4	17	4
オルベスコ <sup>®</sup>	喘息治療剤	3	3	4	3	12	3
ボンアルファ <sup>®</sup>	角化症治療剤	3	3	3	2	11	3
ソマチュリン <sup>®</sup> *	先端巨大症・ 下垂体性巨人症治療剤	2	3	3	3	11	3

\* ボナロン<sup>®</sup>/Bonalon<sup>®</sup> はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

\* ソマチュリン<sup>®</sup>/Somatuline<sup>®</sup> は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

## ◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2015年6月末現在)

\* 承認／新規上市は直近1年間を記載

	臨床開発段階				
	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認／ 新規上市
骨・関節 領域		ITM-058 KTP-001			
呼吸器 領域		PTR-36			NA872ET [ムコソルバン]
代謝・ 循環器領 域	TMG-123 TMX-049*	ITM-014N [ソマチュリン®] (適応追加: 神 経内分泌腫瘍) TMX-67XR [フェブリク]	TMX-67TLS [フェブリク] (適応追加: 腫瘍崩壊症候群) TMX-67 [フェブキソスタット] (中国)		
その他			GGs-ON, -MPA, -CIDP [ベニロン] (適応追加①: 視神経炎<ON>、 (適応追加②: 顕微鏡的多発血管 炎<MPA>) (適応追加③: 慢性炎症性脱髄性 多発根神経炎<CIDP>)		

\* 新規高尿酸血症・痛風治療薬としてTMX-049の臨床開発を2015年4月に着手。

◆ 前臨床・臨床準備段階の導入状況(直近3年間を記載)

導入契約	導入元	内 容
2014年5月	シグマタウ社(英)	ADA欠損症治療薬EZN-2279の日本における独占的開発・販売契約を締結

◆ 製造販売承認申請段階の導入状況

導入契約	導入元	内 容
2015年3月	大正製薬(株)	変形性関節症を予定適応症とした、エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤TT-063の国内における販売権許諾契約を締結

◆ 新規開発医薬品 (2015年6月末現在)

## 【承認取得】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
NA872ET (アムプロキソール塩酸塩)	去痰	既に販売している去痰剤アムプロキソール塩酸塩(ムコソルバン)の小型徐放錠。 ムコソルバンLカプセルより小さいため、服薬しやすく、分包性に優れることが期待される。	徐放錠	導入:独ベーリンガー・インゲルハイム社 2015年2月承認取得

## 【Phase III】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GG5-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)
GG5-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害(多発性単神経炎)を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)
GG5-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)
TMX-67TLS (フェブキソスタット)	腫瘍崩壊症候群	本剤の強力な尿酸生成抑制作用により、1日1回の投与で、悪性腫瘍に対する化学療法に伴う高尿酸血症の発症を抑制することが期待される。	錠剤	自社開発品 (適応追加)
TMX-67 (フェブキソスタット)	高尿酸血症・痛風	国内販売しているフェブリク錠を中国に導出する。本剤は、強力な尿酸生成抑制効果に加え、腎機能低下等により既存治療薬を使うことのできなかつた患者へも使用が可能であり、中国における高尿酸血症・痛風治療の新たな選択肢として、高尿酸血症・痛風患者のQOL(Quality of Life)向上に貢献できることが期待される。	錠剤	共同開発: アステラス中国 (中国)

## 【Phase II】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-014N (ランレオチド酢酸塩)	神経内分泌腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導(直接的作用)や細胞栄養因子の分泌制御(間接的作用)を介した作用により、神経内分泌腫瘍の進展抑制や諸症状の改善が期待される。	注射	導入: 仏イプセン社 (適応追加)
ITM-058	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と高い安全性(高カルシウム血症のリスク低減)が期待できる。	注射	導入: 仏イプセン社
KTP-001	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解療法剤。 生体内でヘルニアの自然退縮に関わる酵素(マトリックスメタロプロテアーゼ)と同じ構造のヒト型タンパク質であることからアレルギー反応のリスクが少なく、選択的に作用するため、椎間板周囲組織の傷害性が低いと期待される。手術に代わる低侵襲性の治療法の選択肢を広げることができる。	注射	発明者: 波呂浩孝氏、 小森博達氏 共同開発: 化血研
TMX-67XR (フェブキシソスタット)	高尿酸血症・痛風	既に販売している高尿酸血症・痛風治療剤フェブキシソスタット(フェブリク)の徐放剤。	経口	自社開発品
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序(CRTh2拮抗作用)によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果(軽症患者)や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果(軽症~重症の患者)が期待される。	錠剤	導入: 英プルマジェン・セラピューティクス(アズマ)リミテッド社

## 【Phase I】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMG-123	2型糖尿病	新規作用機序(肝優位型GK活性化作用)による血糖コントロール薬。 血糖コントロールが不十分な患者で有効性が期待されるほか、高い利便性(1日1回投与、腎機能低下患者で用量調節の必要性低い、薬物相互作用の懸念が少ない等)が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。 新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品

# TEIJIN

*Human Chemistry, Human Solutions*

## *Human Chemistry, Human Solutions*

テイジンブランドの約束を“Human Chemistry, Human Solutions”と表現します。

この約束は、「人と地球環境に配慮した化学技術の向上と、社会と顧客が期待している解決策を提供することで本当の価値を実現することに挑戦し続けること」を意味しています。

私たちはこの約束を確実に成し遂げ、企業理念であるQuality of Lifeの向上に努め、社会と顧客から信頼される企業グループであり続けます。